

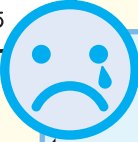
ひもときシートは、

認知症ケアの「考え方」をアシストするツールです

チームでも、そして一人でもひもときシートは使えます。

そして困難であればあるほどひもときシートは力を発揮します。

こんなに
頑張っているのにうまく
いかないなあ



このような具合に進みます

私が辛いのはあなたのせい…

皆さんが困っていること、負担に感じていることを具体的にイメージします。
その方にどうなってほしいと考えますか？
そのためにどんな取り組みを行おうと考えますか？

自分達が
困っていることを、そのまま
素直に書けばいいんだ！



いや待てよ 本当は何か理由が…

その方が口にする言葉、表情やしぐさを、ありのままに書き出してください。
その方が困っている時に、こだわっていることは何ですか？
身体は痛くないですか？ 寂しそうではないですか？ 寒くはないですか？
生活環境の変化はありましたか？
認知できないものに囲まれて不安を感じてはいませんか？

そんなことが
影響しているかも
しれないんだ

事実を基に思考展開

そうだそうだ。
つながってきたぞ！



自分も同じ立場だったら…

その方が本当に悩んでいることはどんなことなのでしょう？
今まで理解できなかった言動の意味がわかってきませんか？
ブレのない新しいケアの方向性が見えてきませんか？

なんだ。本人にとっては、
当然のことだったんだ。
それだったらこういう方向性で
接していこう！

今までの見方や捉え方では、なかなかたどり着くことができなかった
援助者の視点から本人の視点への切り換え！
そしてチーム内での方向性の一致もスムーズに！
スーパーバイズ的にダイナミックな思考の転換を進めていきます。

これからの認知症ケアにおけるスタンダードな思考法。
それがひもときシート！